



# 聖日礼拝プログラム

今週のみことは

司会者 渡邊貞雄師

ONLINE礼拝

「アバ、父よ…この杯をわたしから取り去ってください。しかし、わたしの望むことではなく、あなたがお望みになることが行われますように。」 マルコ一四・二六

讃美★新229	千歳の岩よ	—	同
主の祈り		—	同
讃美★新112	カルバリ山の十字架	—	同
交読	イザヤ 53 : 1 ~ 6	—	同
祈	書	マルコ 14 : 32 ~ 42	渡邊頼子師
聖	書	「ゲッセマネの祈り」	司会者
説	教		渡邊貞雄師
献	金★新105	栄えの冠を	個人個人で
頌	新 63	父、御子、御霊の	(起立) 一同
祝	禱		

★印. = 全節朗読

報告 司会者  
受 = な し / 操 = 渡邊師 / A = な し / 報 = 牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会  
TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄  
FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子



2022年3月27日 VOL. 45-13 No. 2369

URL <http://matukyo.com/>  
Email [sadao@mctv.ne.jp](mailto:sadao@mctv.ne.jp)

## ご報告・消息欄

- ▼ 本日の夕方よりチャーチ・オブ・ゴッド2021年度・総会と年会が開催されます(よき道3月号の4ページもご参照ください)。
- ▼ 特に、3月28日(月)夜は、任命式(就任式・顕彰式含む)と聖会が持たれます。どなたもYouTubeで、接続が可能です(後日連絡します)。

- 来週礼拝マルコ14 : 66~72
- 主 題「火にあたるペテロ」

- ▼ 今週は年会週のために、水曜夜のオンラインによる定例祈禱会は、お休みとなります。ご了承ください。
- ▼ 今週後半からは、2022年度がスタートします。霊肉が整えられて、新しい踏み出しをさせていただきます。
- ▼ 戦争激化の中にあるウクライナを覚えてお祈りさい。



# にれ はみ

2022年3月20日  
聖日礼拝  
マルコ14:12~25  
「過越の食事」  
説教 渡邊貞雄 師



ここは最後の晩餐である。「用意」と4回も強調されている。それをキーワードとして考えてみよう。

## I、過越の用意をされる主

主は「私たちはどこへ行って用意しましょうか」(12)と語られた。過越の祭はユダ人たちの大切に意義ある祭で、巡礼者が都に上り、町中が大混乱する時であった。主は2人の弟子に晩餐の準備するよう告げられた(13~)。

その内容とは、都に行き、水瓶を運ぶ人と出会い、その主人に客間はどこかと聞くようにとの指示であった。実際に行ってみると、整った大広間があり、そこで過越の用意が出来たのである。弟子たちは「言われたとおり」(16)になり大変驚いた。

人生が神のことばに導かれる時、世の心配と思い煩いから守られる。

## II、良心の責苦に用意される主

過越の席で主は爆弾発言をされた。「あなた方の一人…一緒に食事をしている者がわたしを裏切る」と(18)。弟子たちは次々に「まさか私ではないでしょう」と不安を口に出した。さら

に主の爆弾発言は「二人のうちの一人、わたしと一緒に手を鉢に浸している者」が、その者だと語られた(20)。

主のみことばは「まさか私では…」と罪責の心を問われる。ユダの心にも聖霊は語り続けておられたのだが…。

## III、赦しを用意された主

晩餐の席上で主はパンを裂かれ、これは過越に屠られる子羊であり十字架のわたしの体だと示された(22)。さらに杯のぶどう酒は、多くの人のために十字架で流す血だと語られた(24)。人は自らの罪を認めて悔い、十字架の救い主を信じ仰ぐ時に、救いと自由と喜びを体験する。

私たちはパンを食べぶどう酒を戴く時、新しい活力を受ける。この聖餐を受ける時にわたしたちの信仰は強められる。イスカリオテのユダは、最後まで頑なとなり悔い改めずに、滅びの道に進んでしまった。

私たちは、主の前に「まさか…私ではないでしょう」と、自分の弱さを覚え、主の赦しを仰いで新たにされ、感謝して歩ませていただきましょう。